

やさしい旅ヘルプ ⑤

飛行機はチケットレス、自動チェックインの時代。アナログ人間は戸惑うばかりだが、競争の激しい航空業界では必須の経営課題だ。とはいえ空港は地上職員の数が少なくなり、ちよつとしたことを尋ねるにも苦勞する。

気兼ねせず利用しよう

飛行機はチケットレス、自分の介助を頼むこともできる。自動チェックインの時代。アナログ人間は戸惑うばかりだが、競争の激しい航空業界では必須の経営課題だ。とはいえ空港は地上職員の数が少なくなり、ちよつとしたことを尋ねるにも苦勞する。

空港サービス、船旅も

そんな中で親切なのは車いす利用者や障害者、子供連れをケアする専用カウンターの。日本航空はスマイルサポート、全日空ならスカイアシストデスク。空港管理会社の対応も良くなった。

車いすやベビーカーの貸し出しが受けられ、搭乗する際

換えられる場合もある。機内には狭い通路を移動する専用車いすもある。羽田のような大きなターミナルでは、空港内を移動するのが大変だ。そういったときは、ゴルフ場の電動カートのような車によるサービスを受けられる。もちろん無料だから、気軽に声を掛けたい。人気が定着した船旅も高齢の旅行者に親切だ。長旅では荷造りやスーツケースの持ち運びが心配だが、船旅は滞在するホテルがそのまま移動してくれるようなもの。カバンをクルーズ会社に預ければ、客室まで

運んでくれる。宅配会社を使えば港から手ぶらで帰れる。欧米ではクルーズ文化が浸透している。地中海など定番コースがたくさんあり、大型の新造船は町が動いているような感覚だ。高齢者の利用も掛かりな改装があるたびにリアフリールームが増えてき

わが国でも「飛鳥」や「つば丸」など、新造船や大掛かりな改装があるたびにリアフリールームが増えてきた。高齢の車いす利用者は、旅行業界にとって長年の上得意さんのはず。そういう人に理直し・篠塚恭一



空港には車いすが十分用意されている